

平成二十九年 度 岩手県立博物館 十 十 十 展

中 南 糠

世 部

の 氏 部

と

ぬかのぶ

向鶴銅製品（聖寿寺館跡出土 南部町教育委員会蔵）
をもとにデザイン。

2017.9.23 土 → 11.26 日

主催：岩手県立博物館・公益財団法人岩手県文化振興事業団 会場：岩手県立博物館 特別展示室

● 開館時間

9:30 ~ 16:30 (入館は 16:00 まで)

● 休館日

月曜日(月曜が休日の場合は開館、翌平日休館)

● 入館料

一般 310 円 (140 円)・学生 140 円 (70 円)・高校生以下無料
※ () 内は 20 名以上の団体割引料金

・学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は申請により入館料免除となります。
・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその
付き添いの方は無料です。



岩手県立博物館

IWATE PREFECTURAL MUSEUM

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷 34 TEL 019-661-2831 FAX 019-665-1214

中世の南部氏と糠部

ぬかのぶ

部



向鶴銅製品（聖寿寺館跡出土 南部町教育委員会蔵）
室町・戦国時代

南部氏の家紋「向鶴」の使用例として現状確認される最古の資料です。



天目茶碗（佐藤館跡出土 南部町教育委員会蔵）
室町・戦国時代

聖寿寺館跡では天目茶碗の破片や茶道具も出土しており、このことは、当時この地で武家の嗜みとして茶の湯が行われたこと示しています。尚、写真の資料は聖寿寺館跡に近接する佐藤館跡出土の天目茶碗です。この資料は破片ではなく完形で出土している点で非常に貴重です。



金箔土器（聖寿寺館跡出土 南部町教育委員会蔵）
室町・戦国時代

金箔土器は室町から戦国時代の一部の有力大名の居館でしか出土しない、大変貴重なものです。



長胴太鼓（岩手県指定有形文化財 天台寺蔵）
室町・戦国時代

この長胴太鼓は、太鼓そのものとしても国内屈指の古さを誇るほか、修理銘として南朝元号「元中9年（1392）」が墨書されており、この地域の支配者が南朝方であった可能性を示唆するものとしても注目されます。

展示構成（予定）

- 南部氏発祥前史
- 古文書にみる根城南部氏の実像
- モノ資料にみる三戸南部氏の実像
- 描かれた歴史の世界
- 発掘された三戸南部氏の城館
- 編纂資料にみる南部氏の歴史

関連事業

● 県博日曜講座

- 中世の南部氏と糠部について考える

日時：2017年10月8日(日) 13:30～15:00

場所：講堂

講師：佐々木康裕（当館専門学芸員）

- 三戸南部氏成立の謎

—掘り起こされた三戸南部氏の居城「聖寿寺館跡」—

日時：2017年11月12日(日) 13:30～15:00

場所：講堂

講師：布施和洋氏

（南部町教育委員会社会教育課史跡対策室総括主査）

● 展示解説会

日時：2017年10月14日(土)、11月3日(金・祝)

各回とも14:30～15:00 特別展示室／要入館料

利用のご案内

● 開館時間

9:30～16:30（入館は16:00まで）

● 休館日

月曜日（月曜が休日の場合は開館、翌平日休館）

● 入館料

一般310円（140円）・学生140円（70円）高校生以下無料
※（ ）内は20名以上の団体割引料金

・学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は申請により入館料免除となります。

・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。

● 交通のご案内

● お車をご利用の場合

東北自動車道 盛岡ICから約30分
東北自動車道 滝沢ICから約20分

● 路線バスをご利用の場合

盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば（ななっく前）発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗り、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

